

マタイ 60

主の裁きは 嘆きをもつて

マタイ福音書23:29～39 エルサレムの罪・メシアの嘆き

Shikaoichurch.com

主の裁きは嘆きをもって

①突きつけられる最後の罪状

23章29～36章

②嘆きをもって告げられる裁き

23章29～39節

③主が涙される恵みの時代に

まとめと適用

文脈の確認

神殿で最後の吟味を受けるメシア

- 過越の祭りで祭司のためにささげられる特別な子羊。
その**吟味の期間**、メシアは神殿で**最後の論争**を受ける。
- ニサンの月の10日に、エルサレム入城。
翌11日、宮きよめ。
- そして、12日、神殿での激しい論争が
パリサイ派、サドカイ派、律法学者、祭司たちと勃発!!

メシアの地上生涯最後の長い一日の論争に、決着が!!

「するとだれ一人、一言もイエスに答えられなかった。
その日から、もうだれも、あえてイエスに質問しようとは
しなかった。マタイ福音書22:46」

■ 論争は、メシアの完勝。

イエスには、非難される罪は一つも見いだされなかった。
イエスは、傷もしみもない、神の子羊。

そして、メシアから、偽善者へ厳しい裁き宣告が!!

23章 メシアによるイスラエルの罪と裁きの宣告

1～12	❶被告人の特定	イスラエルの宗教指導者 (イスラエルの代表者)
13～35	❷罪状	「わざわざいだ、偽善の律法学者、 パリサイ人」 …罪状の列挙
36～39	❸判決	「エルサレム、エルサレム」 エルサレム陥落(AD70)

前回のまとめ

罪状①～⑥が告げていたこと

【偽善の律法学者・パリサイ人の罪】

ゲヘナ

- ①偽善者は地獄への案内人 …メシアを拒絶し、人々を救いから閉め出した。
- ②偽善者は欲望の奴隷 …神ではなく、金や富を信頼。
- ③偽善者は内側から腐る …外側はいかにも信仰的。内側は腐りきっている。



①突きつけられる最後の罪状

マタイ23:29～36

オリーブ山・墓地

①最後の罪状 虚栄 マタイ23:29～30

わざわざ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは預言者たちの墓を建て、義人たちの記念碑を飾って*、こう言う。

『もし私たちが先祖の時代に生きていたら、彼らの仲間になって預言者たちの血を流すということはなかっただろう。』

*この時代の流行りの信仰アピール？！

■常に少数で迫害されていた預言者たち。
彼らの側に立つの者もごく少数。



キデロンの谷・アブサロムの塔

①最後の罪状 偽善の証明 23:31～32

こうして、自分たちが預言者を殺した者たちの子らであることを、自らに対して証言*している。

おまえたちは自分の先祖の罪の升を満たす*がよい。

*偽りの主張が、まさに偽善者の証明に。

➡「自分も迫害する一人だったかも」と、謙遜に問うのが、信仰者。

*最後の罪が、メシアの拒絶



古代の計量カップ

①最後の罪状 ゲヘナの刑罰 23:33

蛇よ*、まむしの子孫*よ。おまえたちは、
ゲヘナの刑罰*をどうして逃れることができるだろうか。

＊蛇は悪魔の象徴。酷評の極みの表現。

「蛇のようにその舌を鋭くし 唇の下には
まむしの毒があります。詩編140:3」

＊洗礼者ヨハネも(マタイ3:7)

イエスは、2回発言(マタイ12:34)

＊永遠の滅び



パレスチナクサリヘビ

①最後の罪状 迫害の歴史 23:34

だから、見よ、わたしは預言者、知者、律法学者を遣わすが、おまえたちはそのうちのある者を殺し、十字架*につけ、またある者を会堂でむち打ち、町から町へと迫害して回る。

■迫害の過去・現在・未来

- ①ある者を殺し …律法時代の預言者
- ②十字架につけ …イエス・キリスト
- ③会堂でむち打ち…使徒、弟子たち



企てられた
メシアの殺害は
ついに実行へ!!

①最後の罪状 血の責任 マタイ23:35

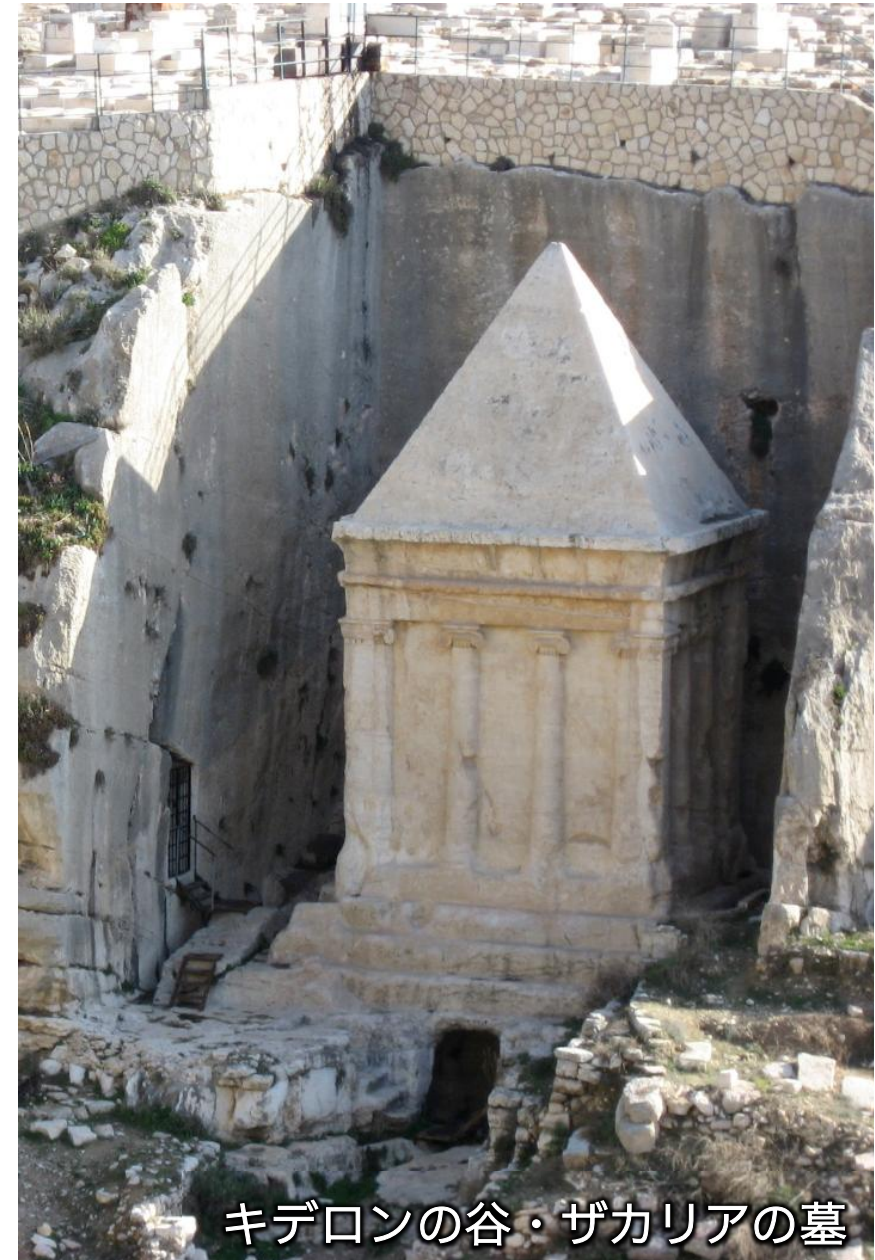
それは、義人アベル*の血から、神殿と祭壇の間でおまえたちが殺した、バラキヤの子ザカリヤ*の血まで、地上で流される正しい人の血が、すべておまえたちに降りかかる*ようになるためだ。

*カインによる最初の殺人の犠牲者

➡神に正しい献げ物をささげた。

*エホヤダの子ゼカリヤ?!(Ⅱ歴24:22)

*血を流した責任は、流した者の上に!!



キデロンの谷・ザカリヤの墓

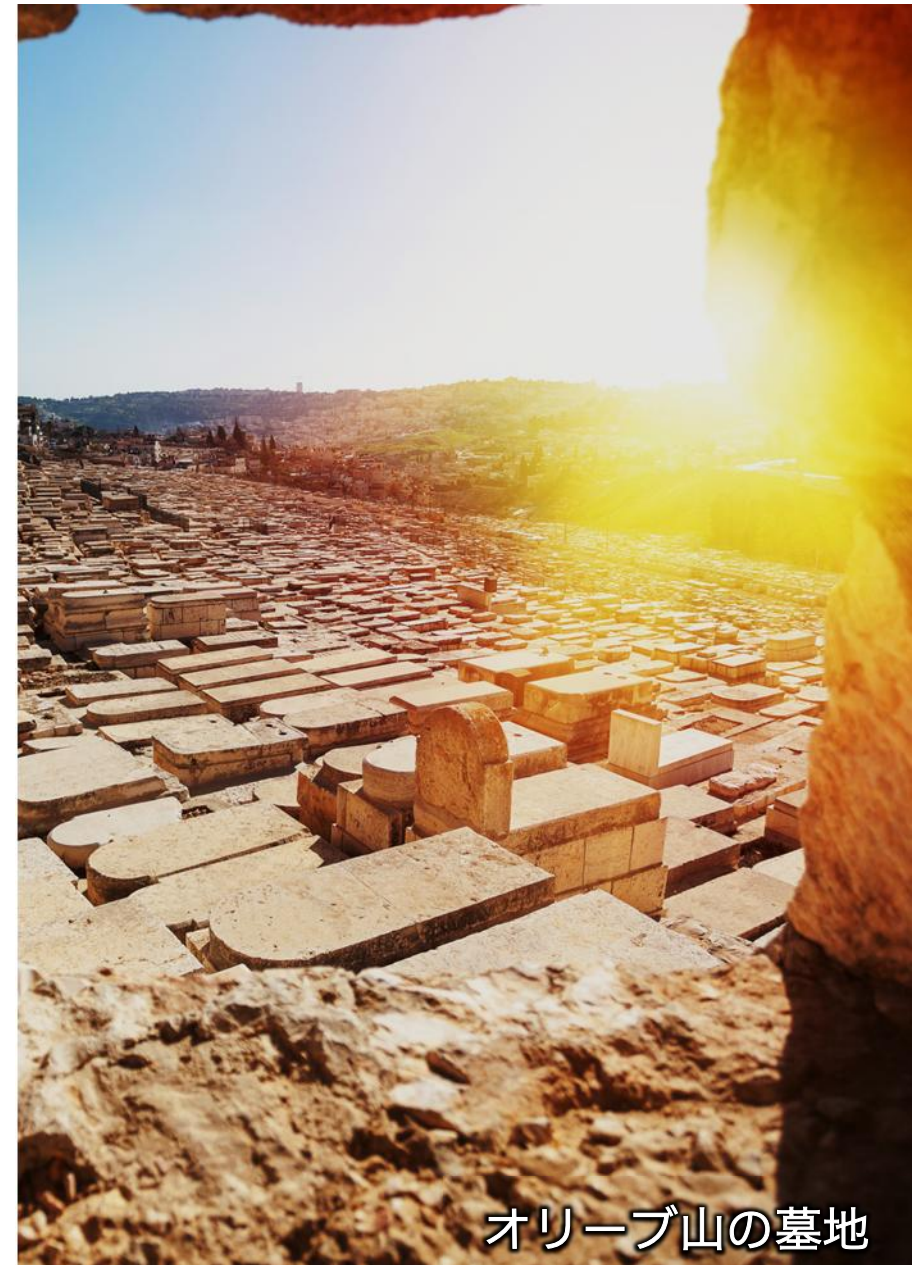
①最後の罪状 主の裁き マタイ23:36

まことに、おまえたちに言う。これらの報い*はすべて、この時代*の上に降りかかる。

＊最悪の罪が、メシアの拒絶と殺害。

＊“この世代”とも。

メシアを拒んだ、
この世代のイスラエルに、
神の厳しい裁きが下る!!



オリーブ山の墓地

①最後の罪状

偽善者はメシアを拒絶し滅びに至る

- 預言者や殉教者の碑を建てる行為すら偽善だった。
- 積み重ねた罪の最後が、メシアの拒絶・殺害。
- 流した血の責任は、この世代に降りかかる。

そして、嘆きとともに、裁きの内容が明らかにされる



②嘆きを持って告げられる裁き

マタイ23:37～39

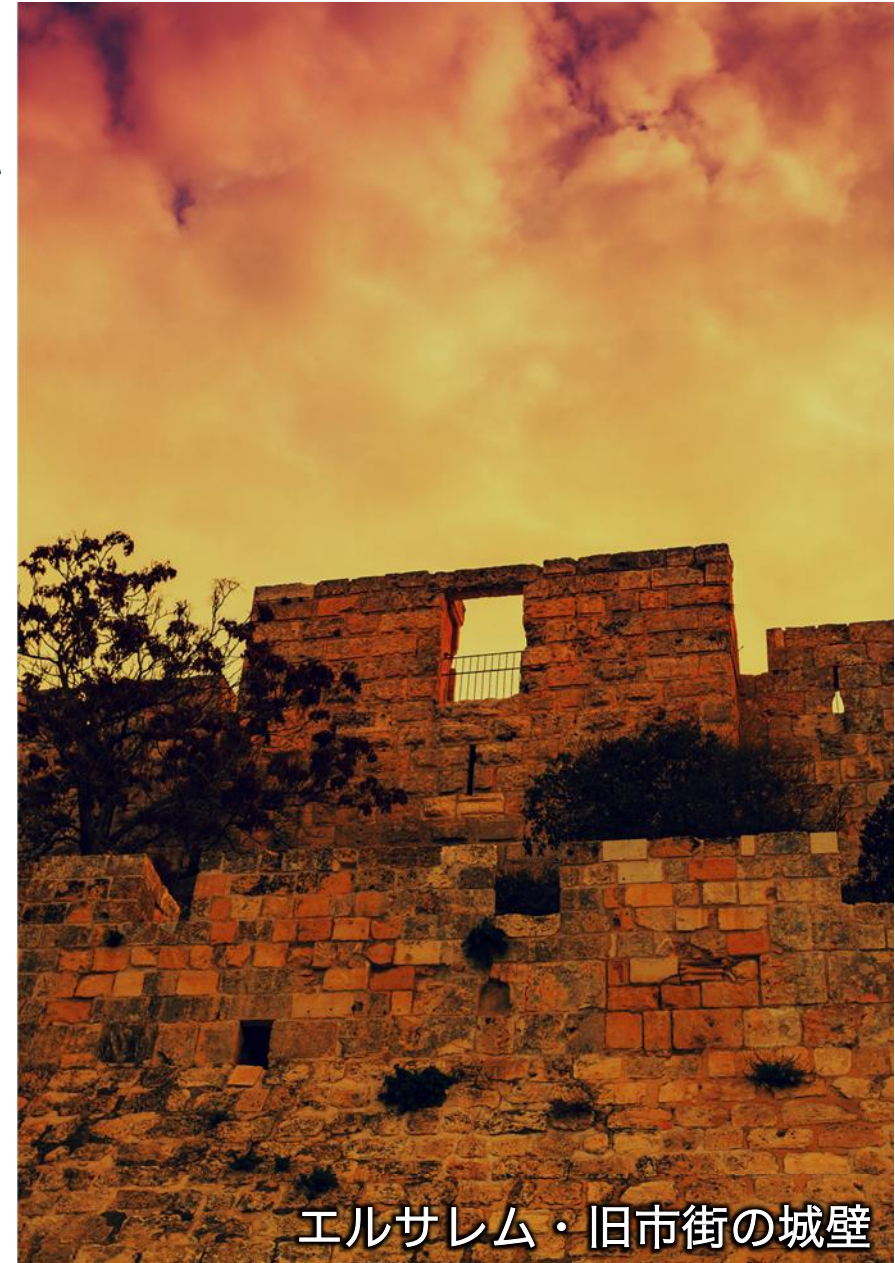
エルサレム神殿・西壁

②嘆きと裁き 主の嘆き マタイ23:37

エルサレム、エルサレム*。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者よ。わたしは何度、めんどりがひなを翼の下に集めるように、おまえの子らを集めようとしたことか。それなのに、おまえたちはそれを望まなかった。

*繰り返しの呼びかけ。深い愛情表現。

■主の神殿が建てられた聖なる都で、多くの義人の血が流されてきた。



エルサレム・旧市街の城壁

②嘆きと裁き 都の滅亡 マタイ23:38

見よ。おまえたちの家は、荒れ果てたまま見捨てられる。

- 約40年後、ローマによる陥落(AD70)
神殿も焼失。基礎まで徹底的に破壊。
→ 以後、現在に至るまで神殿はない。



旧市街の城壁

②嘆きと裁き 再臨の主 マタイ23:39

わたしはおまえたちに言う。今から後、
『祝福あれ、主の御名によって来られる
方に*』とおまえたちが言う時が来るまで、
決しておまえたちがわたしを見ることは
ない。」

＊エルサレム入城の時に群衆が連呼。

…メシア再臨を示す仮庵の祭りで

メシア再臨時の呼びかけ(詩編118:26)

■彼らが見るのは、裁き主イエスの姿。



エルサレム神殿・西壁

エルサレムに近づいて、都をご覧になったイエスは、この都のために泣いて、言われた。

「もし、平和に向かう道を、この日おまえも知っていたら——。しかし今、それはおまえの目から隠されている。

やがて次のような時代がおまえに来る。敵はおまえに対して壘を築き、包囲し、四方から攻め寄せ、

そしておまえと、中にいるおまえの子どもたちを地にたたきつける。彼らはおまえの中で、一つの石も、ほかの石の上に積まれたまま残してはおかない。それは、神の訪れの時を、おまえが知らなかったからだ。」

②嘆きと裁き

偽善者はメシアを拒絶し滅びに至る

- 主の憐れみ … 何度も促された悔い改め
- ついに下る裁き … ローマ陥落 (AD70)
神殿の喪失。世界への離散。
- 最後の審判 … 再臨の主による裁き

主イエスが嘆き、涙を流されるほどの裁きが下る!!



まとめと適用

主が涙される恵みの時代に

まとめ

主の裁きは嘆きをもって

①突きつけられる

最後の罪状

…偽善による迫害者の証明
メシアの拒絶・殺害
(策謀は実行を待つだけ)

②嘆きを持って

告げられる裁き

…再三の悔い改めの促しを拒絶
この世代への裁き(AD70)
再臨の主による裁き

主は嘆かれる 主は裁きを下される

- ①主は憐れまれる ……初臨のメシアは、贖い主・救い主
イエスは、嘆き、涙を流された。
神は愛。罪人を忍耐される。
何度も悔い改めの機会を与えられる。
- ②主は裁かれる ……再臨のメシアは、裁き主、王の王
メシアを拒絶した者に裁きを下す。

まとめ

神の愛 神の義

■ モーセに示された神のご性質 出エジプト34:6～7

「【主】、【主】は、あわれみ深く、情け深い神。怒るのに遅く、恵みとまことに富み、恵みを千代まで保ち、咎と背きと罪を赦す。

しかし、罰すべき者を必ず罰して、父の咎を子に、さらに子の子に、三代、四代に報いる者である。」

■ 神の愛 …悔い改めの機会。信じた者への永遠の救い。

■ 神の義 …必ず下る裁き。子孫への罪の影響は有限。

適用

憐れみの主の前に、罪を告白しよう

- エルサレムを嘆かれた主が願っておられたことは？
➡ 民が悔い改めて、目の前のメシアを信じること
- イスラエルの裁きの確定後も、個人には救いの機会が!!
- すべての人に求められるのは、自らの罪を認め、悔い改めて、福音を信じること。

適用

信仰者にも求められ続けていく、悔い改め

- 福音を信じて救われた後も、罪を犯すのが私たち。
➡そのたびに求められる悔い改め、主への立ち返り
- 警戒すべきは偽善。信仰を根底から破壊する最悪のもの。
➡悔い改めすら形だけ。立ち返る機会を喪失。
最後まで拒絶すれば？ 最初から信じてなかった!!

悔い改めは信仰者の特権!! 偽善に陥らないように!!

適用

裁きが近づく、産みの苦しみの時代に

■ 愛が冷め、偽りの教えに人々が流されていく今の時代、偽善が、キリスト教界全体を蝕んでいっている。

例) 象徴的な、辺野古沖転覆事故。

最も罪が重いのは？

持ち上げ、利用しながら、沈黙したままの人々。

プロテスタント、カトリック、リベラルも福音派も。

正しい信仰に立っていたはずの人々ほど重い責任が。

一人一人の信仰が、ごまかしようなく問われている!!

適用

主の前に、言い逃れの余地がない理由

- カルトの洗脳が、本当に「洗脳」なら、解けるはず。
現実には、意識して脱会する人は少ない。

例) Youtubeで宇宙人を信じて出て行った人

➡ 対象が何にせよ、人は自分の意志で信じている

- 人間には、他者には侵せない自由意志の領域がある。
➡ 自分の選択について、神の前で言い訳の余地なし。

悔い改めるか、拒むかは、一人一人の責任に!!

★ 主の嘆きの涙を受けて、遣わされよう ★

■ 初臨のメシア・救い主 と 再臨のメシア・裁き主

主の憐れみ・愛と裁きの狭間が、今の恵みの時代(教会時代)。

■ 恵みの時代の使命は、福音宣教。

私の罪のため死なれ、復活されたキリストを宣言しよう。

■ 主の嘆きの涙をもって、遣わされよう。

どうか主の恵みを受けとってください。信じてくださいと。

心を尽くし、力を尽くして主イエスを宣べ伝えて行こう!!

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

主が、滅び行く人々を嘆き、憐れまれています。

救いに至った恵みをもって、喜びと感謝をもって遣わしてください。

どうか、この身を用いて、一人の人を救いに導き入れてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」